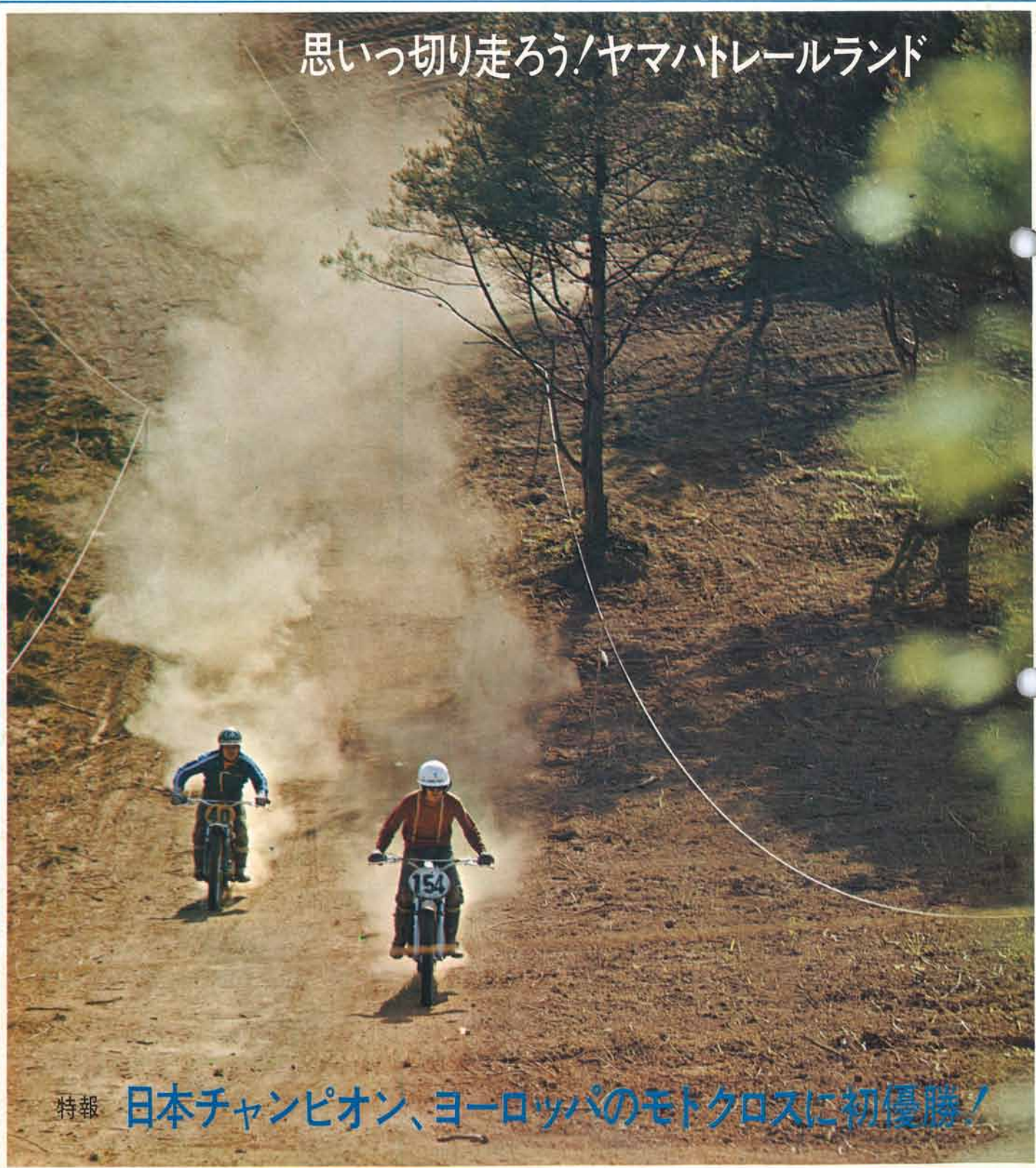


YAMAHA NEWS NO.86

ヤマハニュース '70 **8** AUG.

思いっ切り走ろう!ヤマハトレールランド

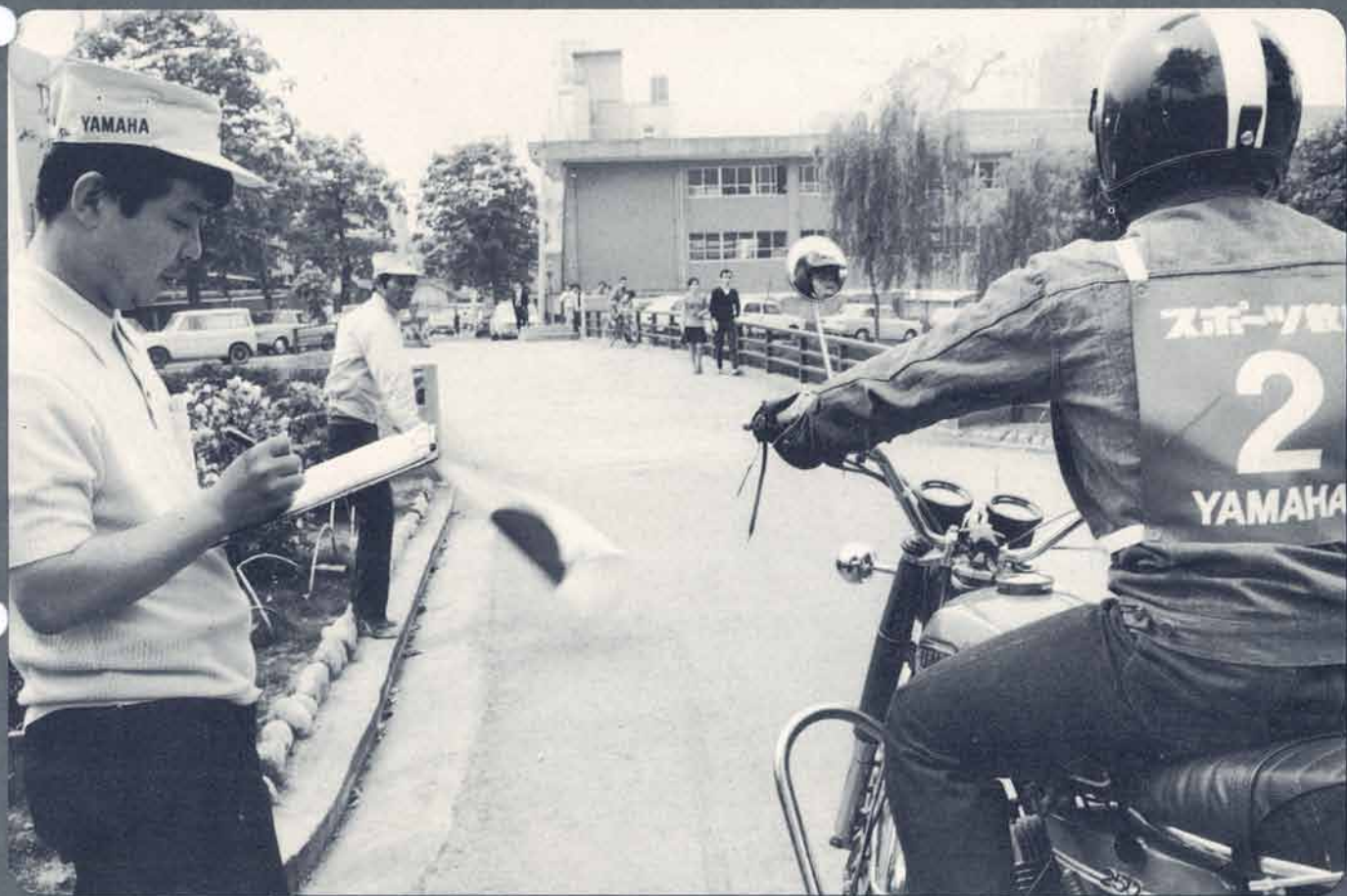


特報 日本チャンピオン、ヨーロッパのモトクロスに初優勝!

ヤマハスポーツ教室を開きましょう

安全にモーターサイクル・スポーツを楽しむ「ヤマハスポーツ教室」がスタートしました。ツーリング、ラリー、ジム・カーナ、トライアル、ロードレース、モトクロスレース、

オート・キャンピング、トレール・ラン…。あなたのお店の周囲の若いお客さまを、こうしたスポーツをつうじて組織化してください。



— 新しい二輪車時代を築くヤマハ —



このほどスタートしたヤマハスポーツ教室は、各地で活発な動きを見せはじめていますが、まず甲府市で山梨オート販売と市内のフレンド店連合の共催で、山梨県一周スポーツ教室ラリーが行なわれ、ぶどうで名高い甲府盆地を全車快調に走りきりました。

山梨
山形

でスポーツ教室ラリー開催

つづいて山形県鶴岡市で、ヤマハフレンド店押井輪店と大江商店の共催で、YSM鶴岡クラブ杯争奪ラリーが行われました。米どころ庄内平野はからりと晴れ上がり、絶好のラリー日和でしたが、どちらもヤマハの健闘がめざましく、両ラリーともヤマハが優勝をさりました。





ぶどう棚のわきを通る。シーズンにいっぱいたれさがったぶどうの房が眼にうかぶ



早稲市内をゆくヤマハ。ゴールまであと一息



早朝出発前のミーティング みんな緊張した面持ちだ

教室スタート！ 山形



中間にあたる大山自動車教習所前のチェックポイント。YSMの会長さんがチェッカーを受持つ

Y S M 鶴岡ラリー 上位入賞者	
優勝	齊藤 豊明 ヤマハ H 3
二位	上野 政雄 スズキ T 9 0
三位	万年 正 ヤマハ D T I
四位	鈴木 伸 ヤマハ
五位	佐藤 順志 スズキ C L 7 2
六位	渡部 東一 ホンダ 9 0 T R
	カワサキ

Y S M 鶴岡ラリーは六月七日、三河橋下広場を起点に湯の浜温泉、出羽山麓を廻って水田地帯を一一〇kmのコースで行なわれました。このラリーにはY S M 鶴岡の会員と一般出場者合わせて十八名が参加しましたが、勝つという事より仲間と走れる楽しさを満喫している人が多かったようです。中食地点の大山自動車教習所では、安全運転競技も行なわれこの日の順位はラリーと競技の総合点で決まり、上位入賞者は文字通り安全運転の模範となるべき腕前を披露しました。当日は各社の車種入り乱れての競技でしたが、ヤマハH 3を駆って出場した齊藤豊明さんがよく頑張つて見事一位にすべりこみました。



のどかな田園地帯をゆく。A T I のエンジンが快よい響きを聞かせる



コース中でいちばんの難所、坊ヶ峰を駆けのぼる。頂上までもう少しだ

- 山梨スポーツ教室ラリー上位入賞者
- | | | | |
|----|--------|------|------|
| 優勝 | 小俣 友明 | ヤマハ | HT1 |
| 二位 | 古屋 久 | カワサキ | AISS |
| 三位 | 渡辺 公男 | ヤマハ | DT1 |
| 四位 | 斉藤 正三 | ヤマハ | DT1 |
| 五位 | 山梨 富士美 | ヤマハ | HT1 |
| 六位 | 田嶋 次作 | ヤマハ | H8 |

雨のため一週間遅れた山梨スポーツ教室ラリーは五月二十四日、山梨県一周100kmのコースで行なわれました。早朝八時にはスタート地点の舞鶴公園に出場者二十名が愛車を駆って集まりました。ラリーのベテランは計算盤を取りつけるなど、余裕をみていましたが、半数以上は初めての出場とあって、緊張の中にもうれしさをかくせないようでした。全コースが葡萄など果樹園をぬって走るといふことに健康的なコースで、中食地点の坊ヶ峰からはコースのパノラマが一望のもとに見わたせる絶景が展開しました。この日はベテランの小俣友明さんが快調にとび出そうとするHT1をぐっとおさえるかのような冷静な走行ぶりをみせて優勝しました。



坊ヶ峰の頂上で中食。見はらしのよいところでの弁当は格別うまい

山梨

ヤマハスポーツ



初めてのラリーは、走るだけでうれしい。カメラを向けられて顔がほころぶ



スタートラインでずらりと並んだ出場者。胸のゼッケンがファイトをよびおこす

青い日の整備士 アイ/ラブ/ヤマハ マルコム・ブラウンさん

真剣なまなざしでAT1のチューニングに取り組む。





みんなと一緒に、和食のお弁当に舌つづみ。
左手で二本の箸を上手に使う。



少しでも疑問があると、早川チーフをとらえて日英チャンポンのメカニック談義となる。



いまの愛車は、早川さんが選んでくれた特選中古のYA6。故郷にはR1がある。

これが買って帰れたらなァ……。会社のみなさんと昼休みのひととき。左が早川さん、ひとりおいて通訳役の宮川営業部長。



いまのところ、勤務は月曜と土曜の週二日ですが、ヤマハのツナギ服をスマートに着こなすし、トレール車のチューンや、オーバーホールを手がけています。

サービスのチーフ、早川光昭さんはブラウンさんの仕事ぶりについて、「基礎ができていし、作業は正確。計器をフルに駆使するのはさすがですね」と、信頼しています。

ブラウンさんの夢は、帰国するまでにXS1の購入資金をためること、しかし、滞在期限が二年ではそれがむずかしく、RXを目標にしていると。とにかく大のヤマハ・ファンは大張りきりで働いています。

山口県宇部市のヤマハ特約店、佐々木モーターズさんで働く青い目の若い整備士が街の人々の間で話題となっています。

米国ペンシルベニア州出身のマルコム・ブラウンさん(24)がその話題の人で、フロリダのレースでヤマハのすばらしい勝ちつづりをまのあたりに見てから大のヤマハ党となり、それまでの愛車BMWを手放してヤマハに乗り換えたほど。リンカーン大学に在学中には走ることだけにはあきたらず、ちかくのヤマハ整備工場に向いて三年間のアルバイト。整備技術を身につけました。その後、シカゴのマコミック神学校に学び、交換学生としてこのほど来日、下関市立大、梅光女学院で英会話を教えるかたわら、ヤマハの故郷、日本ですらに本格的な整備技術を学ぼうと、佐々木モーターズさんを訪ねたものです。



豪快なジャンプ / 車番1の実力をみせて、2位を30秒もブツちぎった鈴木忠男選手（オランダ第2戦）



主催クラブの会長さんから優勝の祝福を受けて、泥まみれの顔がほころびる。

日本チャンピオン ヨーロッパの モトクロスに 優勝!

DT1で“本場”に
挑戦した鈴木忠男
鈴木秀明両選手

モトクロス日本チャンピオンの鈴木忠男、鈴木秀明の両選手が、愛用のヤマハトルール250DT1を駆って、ヨーロッパのモトクロスに挑戦。素晴らしい成績を挙げました。とくに鈴木忠男選手は、六月二十一日に開かれたオランダナショナルモトクロスに優勝。日本人ライダーによる初の快挙を成し遂げたのです。





インから入って強引に抜く秀明選手。日本では想像もつかないきびしいコースだった。(マンクスMX)

「なんとか本場ヨーロッパのモトクロス走ってみたい」覇気あるライダーならば、誰もが持っている夢。これを実現するチャンスが、スポーツライダース(関東)に所属する鈴木忠男、秀明の両選手におとされたのは、二人が一九六九年度のM・F・J(日本モーターサイクル協会)モトクロス部門・最優秀選手に選ばれたときでした。

年間最優秀選手には、「ヨーロッパ派遣」というすばらしい副賞が与えられます。

「どうせヨーロッパへ行くなら、レースを見るだけでなく、自分も走ってみよう」二人は、愛用のヤマハトレール250DT1で、ヨーロッパのモトクロスに出場する決心をかためたのでした。

これまでも幾人かの日本人ライダーが試みて果せなかった「ヨーロッパ・モトクロス初受賞」を、なんとか自分たちの腕で実現させよう! こうした期待と自信とを秘めて、五月二十一日夜、ロードレース部門の最優秀選手たちとともに、空路ヨーロッパへ鹿島立ちしたのです。

日本人選手の初受賞を実現

◆マンクスモトクロスⅡ六月七日

鈴木忠男、秀明の両選手が、はじめてヨーロッパのモトクロスに出場したのは六月七日、T・T・レースでにぎわうイギリス・マン島で行なわれた「マンクス・モトクロス」でした。

ダグラス市郊外にある、この常設モト





陽気で快活な日本チャンピオ
→たちは、どこでも人気もの

クロス場は、イギリスのモトクロス場によく見られるギャップの多い難コースです。ACU（イギリスのモーターサイクル協会）の好意で、これに似たコースで多少、練習する機会があったものの、これまで、路面が比較的平坦な日本のコースばかり走ってきた二人にとっては、大きなハンディがありました。

レースは午後二時半より開始。一周一・六キロの起伏の激しいコースを十周ずつ、三ヒートにわたって展開されました。参加車は405ccスピリットのメーカーチームを含めて三十二台。400ccハスクバーナ380ccグリーブス、360ccC・Zなどの重量車にまじって、250ccのヤマハがスタートラインに向ったのです。

第一ヒート―鈴木忠男選手は馴れないスタートにおおくれましたが、よく追いついて、トップグループに肉迫し、得点5を上げました。鈴木秀明選手はプラグ

交換のためスタートが一周半おくれで、得点圏外。

第二ヒート―忠男選手は再び上位グループにくだり下って力走しましたが、惜しいところで得点ゼロ。秀明選手はバンクのためリタイヤしました。

第三ヒート―不運な車両事故で第一、第二ヒートを失った秀明選手は、スタートから猛然とダッシュして、二位に立ちましたが、第一コーナーで、トップの車を強引に抜こうとして、接触し、転倒。忠男選手もまき込まれて転びましたが、すぐに立ち直って、先頭グループを追い抜きます。秀明選手は、この事故で、かなり遅れましたが、さらに闘志をふるい立たせ、一周ごとに二、三台ずつゴボウ抜きにする快速ぶり。観客の目を見はらせました。

最後の追込みが成功して、秀明選手はじめて得点4を上げ、ついでゴール・インした忠男選手は得点3。

結局、鈴木忠男選手は得点トータル8点で、第九位に入賞しました。日本人ライダーによるヨーロッパのモトクロス初受賞の記録が、ここに樹立されたのです。250ccの出場車の中では、もちろんトップの成績でした。

250ccレースで二位、三位

◆マン島グランドナショナル モトクロス―六月九日

六月九日、ダグラスヘッドの旧ゴルフ場で開かれた「マン島グランドナショナルモトクロス」は、今年で三十三回目という恒例のレースです。鈴木忠男、鈴木秀明の両選手は、250cc級、EN級（オープン）、750ccオープン級の全種目に出場しました。

レースの開始は午後七時という変則的なもの。陽の沈む午後九時ごろまでに、きわめて早いテンポで、予選、決勝戦がくり返されました。

◆250cc級レース

大挙四十数台が参加した250cc級レースは、一周一・二キロのコースを八周して競われました。

鈴木忠男、鈴木秀明両選手とも、スタートからトップグループに進出。虎視眈眈と、先行の二、三台を抜くチャンスをうかがいます。レース中盤には秀明選手が二位、忠男選手が三位に上りまし



会場のどこにいても、レース経過を告げるアナウンスを聞くことができる（オランダ第一戦）

た。しかし、グリーブスのシルベスター選手は老練なテクニックを駆使して、首位をゆずりません。観客が手に汗をにぎるテッドヒートをみせながらも、順位は変わらず、ゴール前の秀明選手懸命の追込みもおよばないままに、レースは終了。秀明選手は二位に、忠男選手は三位に入賞しました。

◆EN級（オープン）レース

メインイベントのこのレースは、ナショナルチャンピオンを目指す精鋭三十数人によって競われました。予選を三ヒート行なって、もつとも成績のよい十二人だけが、決勝戦に進出するわけです。

忠男、秀明両選手とも、重量車を相手に堂々と予選を闘い抜き、そろって決勝戦に進出しました。

決勝戦は、さすがにダイナミックな展開をみせました。一周目に、重量車群に先行を許したヤマハ・コンビは、次第に追いついて、七周目には秀明選手が六位に進出しましたが、ギャップの多い急坂を駆け上った瞬間にチェンがはずれ、レースを断念。忠男選手が第八位で十周を完走しました。



◆750 cc オープンレース

これもまた、三ヒートにわたる予選の結果、上位の十二人が優勝を争うレースです。

ヤマハコンピは、楽々と予選を通過。決勝戦にのぞみました。陽はすでに、山合いに沈み、レーサーが巻き起こす砂ほこりが、視界をさらに暗くします。秀明選手は、ここでもよく健闘し、第七位で六周を完走しました。忠男選手は五周目チエンブーラーがブレーキワイヤーにかまつてリタイアを余儀なくされました。この日の鈴木秀明選手の健闘ぶりには多くの人が賞賛を惜しみませんでした。

林の中のコースで激闘

◆オランダナショナルモトクロス || バルセベルド || 六月十四日

六月十四日、オランダ・バルセベルド市のベネフルテン・サーキットで開かれた「オランダナショナルモトクロス」では、250cc級レースに鈴木忠男、秀明の両選手は出場しました。コースは、森を切りひらいてつくられたもので、見通しもわるく、運転をあやまればコースわきの立木に激突という事態も考えられます。



250ccクラスは、エントリーが六十三台にもほったため、まず二組に分かれて予選が行なわれました。

◆予選第一組

忠男選手がこの組に出場。スタートは五、六番目でしたが、すぐにトップへおどり出し追従を許さず十五分プラス二ラウンドを走り切りました。

◆予選第二位

秀明選手、スタートからトップ。そのまま二位以下をグングン引き離して、ブツちぎりのままゴール・インしました。

日本人ライダーたちのこの快速ぶりに、観客は目を見張ると同時に、声援も惜しみませんでした。

◆決勝戦

予選を勝ち抜いた三十人で競われました。鉄製のスタートゲートが前に倒されると、二人の日本人選手が真先きにとび出し、並んで第一カーブへつつ込んでいきます。

激しいせり合いのすえ、忠男選手が前に出ました。ところが、二周目の急なカーブで忠男選手が転倒。すぐに起き上って、ゴツグルについた泥をはらうかたわ

石だらけの坂、胸をつく上り。車番61秀明選手62忠男選手。(マン島グランナショナルMX)



ヤマハトレールの加速性能を利用して、スタートから猛烈なダッシュ。車番67の忠男選手97秀明選手（オランダ第1戦）



らをハスクバーナ、グリーンブス、ブルタコ、CZ、マイコなどを駆ったオランダの選手たちが走り抜けていきます。パートナーを失った秀明選手は、よく健闘しましたが、二、三人のオランダ人選手が、うしろにピッタリついたまま、チャンスをうかがっています。

決勝戦は二十分プラス二周という長丁場です。しかも森の中をうねる凹凸の激しいコースとくまなく、スタミナの消耗も馬鹿になりません。五周目、ちよつと気をゆるめた瞬間、ローゼンドール選手のハスクバーナが、秀明選手を抜いて、トップに立ちました。また六周目にはリンク選手のAJSにも抜かれ、秀明選手は三位に。相手もあなどりがたい実力を秘めていたわけです。

一方、忠男選手は憤然と追撃に移り、一台、また一台と先行者をゴボウ抜きして、トップグループに迫ります。秀明選手も、一時はリンク選手を抜いて二位になりましたが、コーナーでふらつき、再び三位に落ちたまま、レースは終了しました。六位でゴール・インした忠男選手の闘魂にも大きな拍手がわき



ました。表彰台に立って、大きな花束を抱えた秀明選手は、そのヘルメットに描かれた「明日のジョー」のように、つぎのレースへの闘志を燃やすのでした。

ついに宿願の優勝を果す

◆オランダナショナルモトクロス

〓 バッカーベン 〓 六月二十一日

六月二十一日、アムステルダム北方百五十キロのバッカーベンサーキットに到着した鈴木忠男、秀明の両選手は、その健闘ぶりやヤマハトレール250DT1の性能を伝え聞いた人々にとり囲まれました。「オランダナショナルモトクロス」250ccクラスは二ヒートにわたって展開され、その総合成績によって順位が決められます。一ヒートは十五分経過したあと、最後の二周を走って終了するというルールです。出走は約四十台。ハスクバーナ、CZが目立っています。

◆第一ヒート

午後二時、スタートのゲートが倒され鈴木忠男、秀明両選手が、真先きにとび出しました。忠男選手の加速はすばらしく、牧場内に設けられたコースをすべるように快走します。やがて、特設のジャンプ台を後輪で力一杯蹴って、大空へ飛翔。右に左にくねるコースを砂煙りを上げて走り抜け、林の中のギャップの激しいコースへつつ込んでいきます。

しかし、二周目の最終カーブで目測をあやまり、ふらつく間に、秀明選手が間かくをせばめ、ヤマハトレール同士のデ

ツドヒートが展開されました。三位以下は大きく引き離されています。やがて、持ち前のペースをとり戻した忠男選手は、秀明選手に大きく水をあげ快走のままゴール・イン。一位、二位を日本人選手が独占したのです。

◆第二ヒート

ついで第二ヒート。久しぶりで、国内と同じく、赤い地にナンバー1の車番を指定されて張切る忠男選手は、再び快調なスタートを切りました。

二、三台に先行を許した秀明選手は、これに迫ろうとして、コーナーで転倒。たちまち十三位に落ちましたが、猛然と挽回をはかります。コーナーで、直線であるいは伸びのあるジャンプで、その激しい追撃ぶりに、先行車がたじろいだすきに、一台、また一台と抜いていきます。六周目には早くも五位に進出。観客もかたずをのんで見守りましたが、七周目にキャブレターに砂が入って、エンジンがストップ。無念の涙をのむ結果となりました。

忠男選手は、まさに一人舞台。つぎつぎと一周おくれの選手をつくりながら、豪快な力走をつづけます。速く大きいジャンプに歓声がわきます。

やがて十五分が経過。最後の二周にかかったとき、高速コーナーで転倒。観客をヒヤッとさせましたが、すぐに起き上って快走。二位のトーン選手（ハスクバーナ）を三十秒近くも引きはなしてゴール・インしました。

日本の最優秀選手、鈴木忠男は、文句なしの快勝で、日本人ライダーによるヨーロッパモトクロス初優勝の偉業を成し遂げたのです。表彰を受ける忠男選手のほほに、オランダ女性のキスが浴びせられます。チームメイトの鈴木秀明選手も、心からの祝福を贈ったのでした。



林を切開いてつくられた常設のサーキットで奮戦する忠男選手（オランダ第一戦）



空中でハンドルを握って、接地するまでにバランスを立て直す。一流選手のテクニックを学びとった忠男選手（オランダ第1戦）



ヨーロッパ式のスタートも馴れた。車番①忠男選手②秀明選手（オランダ第2戦）

ブリストルでも入賞

モーターサイクルニュース（英紙）によると、六月二十八日、ブリストル近郊のドッディングトンコースで開かれたイギリスナショナルモトクロスで、鈴木秀明選手は第一ヒート六位、第二ヒート八位。総合で六位に入賞しました。一方、鈴木忠男選手は第一ヒート目に三位を走りながらも転倒してリタイアしました。

このレースで、両選手のヨーロッパモトクロス遠征は終了しましたが、ヨーロッパで出場した五つのレースのすべてに二人のうちのいずれかが入賞しているわけで、その健闘ぶりは、海外でも高く評価されました。



イタリアGPで世男の一流ライダーたちと交歓する忠男選手

勝利を目指して大きくジャンプ/鈴木秀明選手のダイナミックな走法に歓声上がる (オランダナショナルMX=バッカーベン)



やったぞ!日本の代表選手

カラーハイライト



加速性能を利用して、ヤマハトレール快調のスタート/ゼッケン⑧鈴木忠男選手⑥鈴木秀明選手 (マン島グランドナショナルMX)



わずかなバンクに後輪を当てて、コーナーを曲る。タイミングをあやまれば、樹木に激突だ（オランダナショナルMX=バッカーベン）

車検、服装検査と、レースの運営は気持のよいほどテキパキとスピーディーに行なわれる。
(マシン島グランドナショナルMX)



ぶっつきぎりの快走で観客をわかせる鈴木忠男選手①鈴木秀明選手②。
(オランダナショナルMXスーパーバイクベン)



初夏の明るい陽差しののもとで、愛車の整備に余念がない鈴木秀明選手。(オランダ・アムステルダム郊外)



キャラザース⑬は同時にスタートしたトミー・ロップ（スズキ）をグリーンと引きはなす好調の出足。



1970 TTレース

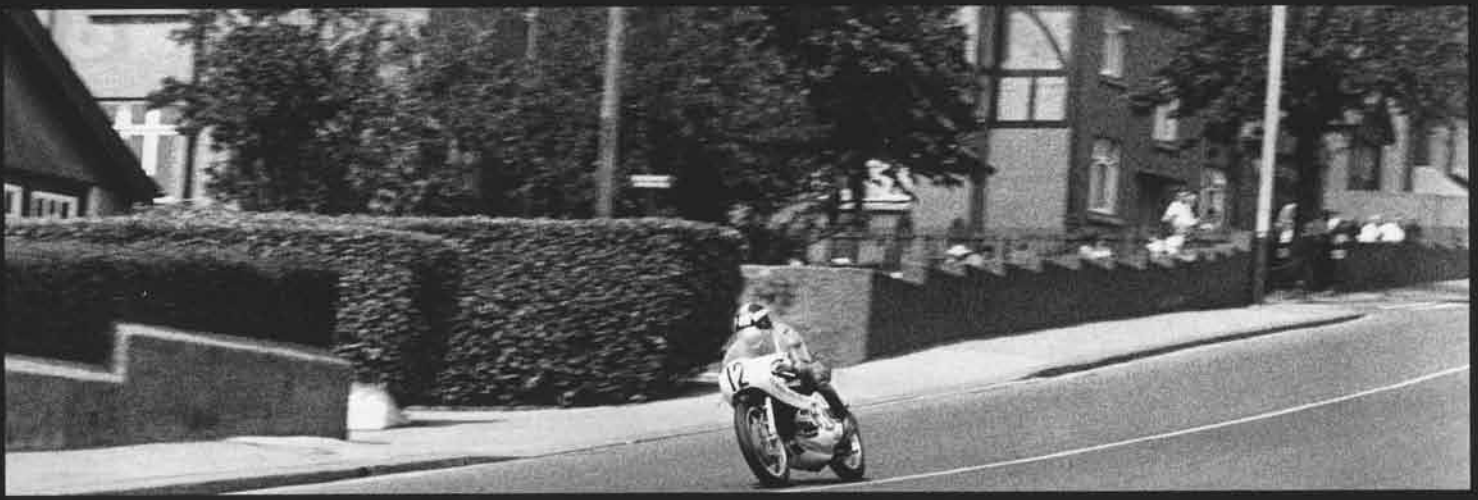
ヤマハ圧勝の250^{cc}クラス



晴れの表彰台で、お互いの健闘をたたえ合うキャラザース（中央）とゴールド（左）



レース開始を間近かにして、慎重に給油をするキャラザース（右）とメカニック。1周60キロのコースを6周しなければならないのだ。



Ｔ・Ｔ・で二位。世界選手権のランキングのトップにおどり出たゴールドの力走



一台が二台ずつスタートする風景はＴ・Ｔ・独特のもの。出走車の半数が、このクラスの市販レーサーで世界一早いといわれるヤマハ250cc T D 2で占められている。

◆ キャラザースに輝く栄冠

今年六十三年目を迎えたＴ・Ｔ・レースは世界のロードレースの中でも、最高の権威と厳しさで知られています。とくに、六月八日行なわれた250ccクラスは百台をこえるエントリーがあり、もっとも注目されたレースとなりました。元世界チャンピオンのフィル・リードが、負傷のため出場を断念。レースは波乱が予想されていました。今年ヤマハ250 T D 2で世界選手権ロードレースシリーズに出場している昨年のチャンピオン、Ｋ・キャラザースは、スタートから快調。公式予選で最高のタイムを記録したポール・スマート（ヤマハ）もこれに肉迫する力走ぶりをみせましたが、三周に入ってからマシントラブルのためリタイア。あとはキャラザースの独走となりました。結局、延べ三六〇・二キロを二時間二分一九秒二（平均時速一五三・八時）で走り、二位のゴールド（ヤマハ）に三分三〇秒以上の差をつけてゴール・インしました。

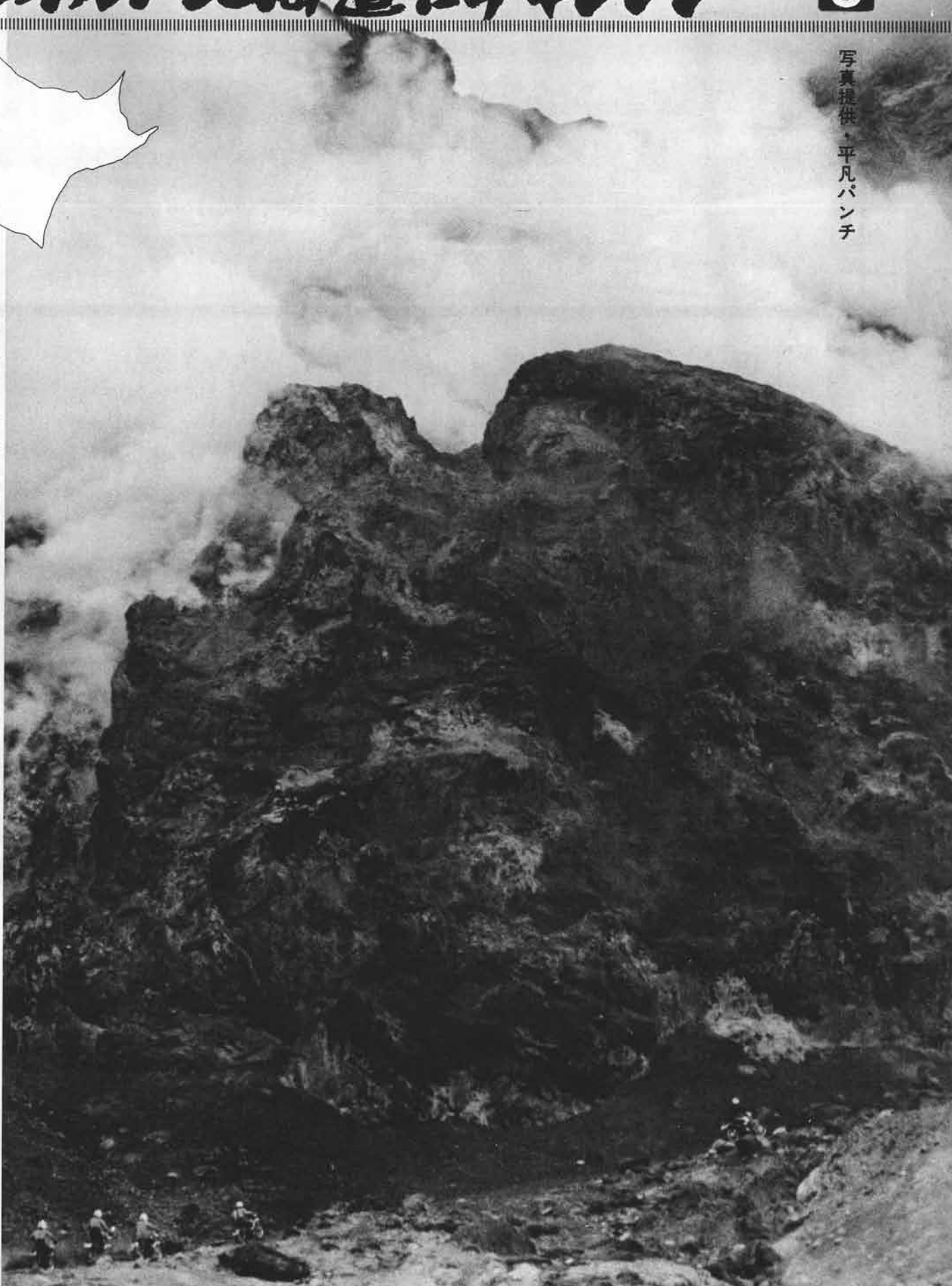
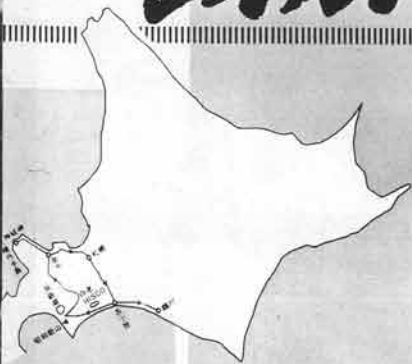
◆ チーム優勝もヤマハが獲得

シルバールブリカ賞に輝く二十四人のライダーのうち、二十二人までがヤマハで出場した選手でした。チーム優勝もまたチャタートン、レイ、コットのヤマハチームが獲得したのです。

「ワイルド北海道」にチャレンジ

8

写真提供・平凡パンチ



たとえば、馬の背にまたがって、大原野を
思いきり駆けたいと思ったら、すぐ出かけた
らいい。

噴煙にかすむ昭和新山。自然が大きければ大きいほど、それにアタックするときの感動も大きい。



急な石段を下って、神威岬灯台へ向う。ヤマハトレールが生れるまでは、考えられなかったコースだ。



地平線のむこうから並んで一直線に走る。障害物があれば飛び越え、やがて地平線に消えていく。



動物をいたわる心。自然を受取る気持。こんなひと時も男にとっては必要だ。

いま、自然と対話したくなったら、トレールにまたがった方がいい。思いつきをすぐ実行できるというのがすごくいいのだ。

暗い陰の少しもない、明るさいっぱいなの若い北海道。写真からはみ出してしまふような荒莫とした原野があり、森や湖や、そして山々。そんな北海道こそ、まさにトレール・ランナーのユートピアではなからうか。

そんな自然にフロンティア・スピリット旺盛な北海道YRC（ヤマハ・レーシング・クラブ・札幌）の七人のワイルド・ボーイがアタックした。

勇（ゆう）私の砂浜で足ならしをした彼ら。人間の存在など、たちまち昇華してしまふような原野の中をたんたんと走る。たいくつな道路を通って、まずは昭和新山へ。早くオフロードへ入りたくて、うずうずしている。

昭和新山は昭和十八年から二十年にかけてなんのへんてつもない麦畑が隆起して、標高四〇六mの山になったものだ。朝露にぬれた地肌が異様に赤い。冷めたい朝もやがエキゾースト・ノートにふるえる。先を競って、一気に駆けあがると、地獄の湯釜の中に吸い込まれてしまふような雰囲気だ。

「もう十五年もここに住んでいるけど、あんな所まで登ったのはお前らが初めてだよ」排気音に起こされて、出てきたみやげ物屋のおやじさんが、あきれ顔で言った。

「これぞまさしくトレール」と鼻たかだかの七人。

次のアタックポイントは積丹半島だ。ロック岩などの奇岩が海中にそり立つシリパラインは、エリモ岬に至る黄金道路のムードに似ているが、こちらの方がはるかに素朴だ。余別岳、積丹山の残雪のまぶしさが増してくると、「行きたいなア。雪の中を走りたいヨ」どこにでも気軽に入って行けるトレール・ランナーは、冒険心が旺盛だ。



積丹半島特有の切り立つ絶壁にそって、未知のコースを探る。

余別までは定期バスが通っているが、突端の神威岬灯台までは、約一時間歩かなければならない。そそり立つ絶壁の下の遊歩道はひとかかえもあるような岩がゴロゴロしている。それがしぶきにぬれてよく滑るが、うまく腰でコントロールして切り抜ける。人の背たけほどのトンネルを抜けると、灯台までは石段がむすんでいる。

「ちょっと無理かなア」一旦はちゆうちよしものの、昭和新山アタクに気をよくした彼らは、つづら折りの階段にチャレンジした。「ここまでオートバイであがったのも、きつと初めてじゃないか」
エンジンを停めると、はるか足元の波の音がひそかに聞こえる断崖の上のトレールのシルエットが絵のようだった。



充実した一日がおわった。トレール・ランをつうじて得たなにかが、人を大きく成長させる。

懸賞!!

ヤマハがひらく若者の道 自然を走ろう トレール・ラン あなたがひらいたトレール・ランコース大募集!!

トレール・ランとは、ヤマハが創りだした新しいスポーツレジャーです。野を越え、谷を渡り、山に登る。大自然にコースを求めて、ヤマハトレールで新しい道をきりひらくダイナミックなライディング、それが「トレール・ラン」です。

さあ、お店のみなさんと、またお店のお客さまで、「これぞ、トレール・ランだから」という素晴らしいコースをご紹介ください。
ご応募の要領は左記のとおりです。

《記》

●トレール・ラン・レポート

トレール・ランの楽しみ方はいろいろあります。例えば

- ▼林道トレール・ラン⇨ハンドルの曲がらばいといった小径を、右に左に、さて到達したところは尾根か頂上か……
- ▼川のぼりトレール・ラン⇨河川に沿ってどこまでも、どこまでも、のぼっていったら、さてどんな世界が……
- ▼旧街道トレール・ラン⇨昔わらじで、いまトレールで訪ねた道は……
- ▼シーサイド・トレール・ラン⇨海辺を駆け、砂丘を乗り越え……
- ▼名所旧蹟トレール・ラン⇨人里はなれた名所旧蹟を一巡して……
- ▼趣味のトレール・ラン⇨釣り道具を持って……珍らしい被写体を求めて……
- ▼食べあるきトレール・ラン⇨昔ながらの峠の茶屋をひろって走れば……
- ▼長距離トレール・ラン⇨地図の上を一線の上に走ってどこまで行こう……まだいろいろと考えられますが、さてあ

なたの走ったトレール・ランの様子をレポートしてください。

●コース・ガイド(走行メモ)

- ▼出発地、経由地、目的地を明記し、区間走行距離、所要時間(休憩の有無)その他の注意事項を記してください。
- ▼トレール・ランを楽しんだ目的地一帯の地図を添えてください。(20万分の1程度の既製の地図にコースや目標などを書きこんでいただければたいへん結構です)
- ▼白黒「カラ」を問いません。あなたやグループの行動、目的地一帯の写真(密着で結構です)を添えてください。観光案内などパンフレット類で参考になるものがあればなお結構です。

●送り先

〒434 静岡県浜北市中条
ヤマハ発動機株式会社広報課

●審査・発表・賞

全国を北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州の八ブロックに分けてコースを審査し、優秀コースは「ヤマハニュース」誌上で発表させていただきます。賞として、応募者全員のみなさまに記念品を、入選コースの応募者の方には特別記念を、「ヤマハニュース」誌上発表分には謝礼をそれぞれお贈り致します。ふるってご応募ください。



道産子のフロンティア・スピリットの前に新しいトレールの道がつけられていく。



セニア350cc級レースのスタート



栄光のチェッカーフラッグをうけるヤマハ350RX

RX、鈴鹿で優勝!!

全日本選手権でデビュー飾る

三五〇cc級で唯一のフル・サイズ高性能エンジンをもつヤマハスポーツ三五〇RXが、鈴鹿ロードレース大会で優勝した。

全日本選手権シリーズ第二戦のロードは六月六日、七日の二日間にわたり鈴鹿サーキットを舞台にひらかれたが、セニア二五〇cc以上のクラスに出場したRXは、予想にたがわぬ圧倒的なつよさを発揮して、初デビューを輝く優勝で飾った。ライダーはベテランの河崎裕之選手で、二位も金谷秀夫選手(ともにスポーツライダース)のヤマハが入り一、二位を独占した。

このほか、セニア二五〇ccクラスでは一位から五位まで(優勝・和田動選手)同じくジュニアで一位から四位まで(優勝・槽野雅治選手)、ノービスでは優勝(小塚法証選手)と、すばらしい勝ちっぷりを示して、モータースポーツ・ファンを湧かせた。

「RXはピカ一ですネ……」と優勝のインタビューで語る河崎裕之選手



ヤマハ創立十五周年

魅力ある商品づくりに邁進

ヤマハ発動機株式会社創立十五周年記念の式典が、さる七月一日、浜北市体育館において盛大に行なわれました。川上社長をはじめ本社工場の全社員が出席してひらかれたこの式典は、IPC（提案制度）運動一周年にもあたり「赤トンボ」Y A 1以来の永年勤続者の表彰につづいて、数多くのすぐれた提案が発表され、表彰をうけました。高品質、高性能ヤマハを合言葉に、ヤマハはさらに魅力ある商品づくりに邁進し、新しい二輪車時代を築いていく決意です。どうぞよろしくお願い致します。



耐久競技で活躍するヤマハ



トレールブームを反映して、アメリカでは荒けずりな地形の変化を利用したオートバイの耐久競技がさかんになってきました。

これは、いわばモトクロスとトライアルをミックスしたような競技ですが、シリーズになっていて、AMA（アメリカモーターサイクル協会）のタイトルが賭けられています。

市場の花形であるヤマハトレールは、ミドルウエイト、ライトウエイトの各クラスで常に上位を占め、さすがトレール時代を築いたマシンだと好評そのものです。





いよいよ登場

ヤマハの高性能白バイ

発売以来そのすぐれた性能と乗りやすさで圧倒的な人気を得ているヤマハスポーツ六五〇 X S 1が、このほどダブルシートをシングルに、ヘッドライトケースに大型メーターをビルトインし、前後にバンパー、サイレン、赤色灯をつけ、白一色のお化粧で警察庁にお腰入れた。いわずと知れた白バイ X S 1の登場というわけです。

この第一陣のヤマハ X S 1の白バイは、もともと交通の激しい東京都を受け持つ警視庁交通第一機動隊、第二機動隊に配属されて、即日実務につき、今後の活躍が各方面から期待されています。



二〇〇万台目と なったヤマハ

オランダでのモトッド登録

〔ヤマハモーターNV(アムステルダム)発〕
オランダにおけるモベットの登録台数がさる
六月で通算二〇〇万台に達しましたが、その
記念すべき二〇〇万台目となったのが、オラ
ンダ国鉄に勤めるド・ウリさん購入のヤマハ
スポーツ50FS1(P)です。

写真はモベット登録二〇〇万台を記念して
オランダ国営テレビがニュースとして全国に
放映したときのスナップ。美しい花に色彩ら
れて、FS1がすましています。オランダで
のヤマハの人気はすばらしく、着々とそのシ
ェアを伸ばしています。



連戦連勝の ヤマハスケートチーム

スペイン

ヤマハレーラーのメンバーで編成されたス
ケートチームが、おそろいのヤマハユニフォ
ームで目下大活躍という、愉快なニュースが
スペインのヤマハ代理店からよせられました。
このチームは、同国のカステロン地方で編
成され、その地方のスケート競技で連戦連勝
の成績を収めて、たちまちチャンピオンの座
を獲得してしまいました。



ヤマハがずらり、 大型車がずらり

〔城東営業所発〕お店のお客さまを主体にク
ラブをつくり、モータースポーツを積極的に
盛りあげ、楽しむという形態が各地でみられ
ますが、早くからスポーツ車を手掛けて、大
きく躍進しているヤマハスポーツ店石井モ
ータース(石井忠行社長)さんでは、このとこ
ろITC(石井ツリーングクラブ)加藤考行
会長)の活動がますます活発となり、お客さ
まと一体となってモータースポーツを楽しん
でいます。

写真は月例の遠乗り会にあつまったメンバ
ーの方々。最初は一五ccクラスが主体でし
たが、最近は一五ccクラスをはじめヤ
マハの大型車に一新し、本格的なスポーツ時
代の到来を告げています。





業界紙もおどろく モトクロス競技の人気

★休日には日本のどこかで、必ず行なわれているというのがモトクロス競技。ヤマハトレイルの登場以来、レース内容も中広く、中身もグッと濃くなって、隆盛の一途をたどっているこのモトクロス熱に、さすがの業界紙も一驚しているほどです。

〔二輪車新聞〕さる十四日にMFJ主催の全日本選手権シリーズ第六戦中部モトクロス大会が静岡県浜北市で開かれ、参加者五百二十名という記録破りの盛況さを示したが、同じ日、県東部の富士スピードウェイ特設モトク

ロス場でもMCF AJ日本選手権モトクロス第四戦が参加者四百五十名を集めて、これまた華々しく開かれた。

両大会とも参加者は県内選手だけではなく遠征組が多数参加したわけだが、同じ日に県東・西部で開かれ、約千台にのぼる参加車があったとはおどろきであり、このうちノービス部門の選手が半数を占めていたのも最近のモトクロス熱のたかさを如実に示していたものといえよう。

あとで聞いたところによると、両主催のクラブに加盟している選手たちはどちらの大会に出場したらよいか、まったく迷ってしまっただという。また当日サービスにあたった販売店、ディーラーの従業員も大忙しで、二手に分かれて休日返上の総動員だったそうだ。(六月二十五日)

スポーツ時代を反映して 各地でサーキットが誕生

★モータースポーツは各地で、若人の人気をあつめておりますが、このほど新しく三つのサーキットが誕生することになり、スピードレースも、鈴鹿、富士を頂点に、そのすそを広げつつあるようです。

〔ライディング〕筑波山のふもと、茨城県結城郡千代川村の平地に、R25をはじめとする各種のカーブを組み入れた一周二千メートルのテクニカルコース、日本オートスポーツセンターの「筑波サーキット」が、六月にオープンしました。

収容人員千二百人のスタンド席からはショートカット千四百メートルを含む全コースが一望のもとにみられ、パドックやガレージ、選手サロンはもとより、整備工場や宿舎(一泊八百円)など、いっさいの附帯設備が完備されています。

木曜定休で、開場は午前九時から午後五時まで。走行にはMFJロードレース部門のノービス以上のライセンスを必要とし、スポーツ走行は六〇分五百円、貸切平日は六〇分一

万五千円、日曜祭日が二万円、全日は平日が十万円、日曜祭日が十五万円ですが、第一、第三日曜日は原則としてスポーツ走行に開放されるために貸切は認められません。連絡先は日本オートスポーツセンター(東京〇三―四三四―八四一―内線四九六)、現地の電話は〇二九六四四―三二四六)。九月にはこの筑波サーキットで全日本選手権シリーズ第四戦がひらかれる(七月号)

〔オートテクニク〕北海道のモータースポーツ・ファンの要望にこたえて、登別の近くの、白老町竹浦に一周二千五五〇メートルのサーキットが七月四日にオープンする。コースの正式名称は北海道スピードウェイ、略してHISCO(ハイスコ)で、コース・オーナーは(株)サカタランド。

このHISCOは全体を遊園地として、北海道での戸外レジャーのメッカとする計画の一環として作られたもの。後半のヘアピンカーブ(実際にはS字カーブ)付近を除けば、コーナーはかなり高速で回れるハイ・スピード型。ストレートは約八百メートルで、海拔一千メートルの小山の上であり、メインスタンド側がいちばん高く、高低差は十五メートル。各コーナーには五度前後のバンクがつけ



WORLD champion Kel Carruthers blamed the Isle of Man highway authorities for the dangerous state of parts of the TT course during his speech at the 250 cc Lightweight prize presentation.

Acknowledging the unique nature of the roads in providing the longest race track in the world, he pointed out that most other grand prix circuits were also used by normal traffic.

"The Island is no longer a place to develop bikes. It is a racing track and should be surfaced as such. The TT course is the worst of all the circuits on which I have raced in Europe."

"I feel sure it would never pass an impartial inspection by FIM stewards. The FIM insisted on complete resurfacing of Benis and Opastja before granting world championship status to the Czech and Yugoslav GPs. Why should the Island be an exception to the rule?"

He continued: "I am not so concerned about the brick walls and other natural hazards of the TT course. I feel that safety measures could be improved but I consider myself skilled enough not to fall off."

"My greatest concern is over road conditions which make a mockery of racing. To talk about the Island as a place to develop bikes is merely an excuse. Manufacturers can go to MIRA for that sort of thing."

Claiming that no other world championship circuit presented so many suspension problems, he said: "We managed to make the Yamaha behave reasonably well but, even with two inches of spongy on the seat, the Honda could barely cope with the bumps. I spoke to Agostini and he agreed with me. Even the MV was a handful!"

Having some ideas which he would like to see resurfaced before returning to the TT, Carruthers said: "The longest stretch is from Bellefleur to the Green. Very straight. Work has been done but resurfacing old bumps and undulations is a waste of time."

"The 11th milestone is bad. I do not expect the TT course to be as smooth as an artificial circuit but the Quarry Bend to Sandy Bridge section was worse than ever."

"The road through Blaney, from Beninboone corner to Mayhill, is pretty bad. I did have a crash after Blaney hairpin, before the right hander leading to Waterworks, needs attention."

"The next danger point is the right hander before Black Hut. This is very bad. There is no real line through it. You have to bend the bike almost vertically to be in control. I might call Sammy Miller but I am no trials rider and trailing is not racing."

"From the 12th Milestone to King's Cottage is bad. The section just before Millinery is also dodgy."

Kel hits out at Island's road dangers



World champion Kel Carruthers is seen in profile. He is speaking at the 250 cc Lightweight prize presentation.

静岡県清水市にサーキットが建設中だ。完成予定は七月下旬という。第一次工事として全長約六〇〇メートル、巾八〜十メートルのコースと、ピット、パドックのほかに、山の斜面を利用したスタンド、スピードシヨップ、チューニング工場等も建設中。第二次工事としてコースを千八百メートルにする構想もあるという。整地のつごうで、直線の長さやコーナーのRは未定。

場所は清水市から国道一号線を東に約四キロ行き、消防署の地点を左折、国道五十二号線を十五キロ行ったところ。海拔三二〇メートル。山に囲まれ、川も近くを流れる良い環境だ。地元も歓迎しており、民泊も受け入れる用意もすること。連絡先は電話〇五四三—五二—三九二静岡パラマウント伏見俊輔氏。(七月号)

TTコースは最悪

K・キャラザースが指摘

★参加台数が新記録に達したといわれる今年のマン島のTTレースは、公式練習中、本レース中の転倒事故でライダー五名が死に、更にレース終了後コースを飛ばした一般のユーザー二名が死者の数に加わるといふ悲惨な結果になりました。

ヤマハで二五〇ccに優勝したK・キャラザース選手は、これらの事故の原因は、TTコースの管理にあたるマン島当局およびACU(英国オートバイ連盟)の怠慢にあったことを指摘し、その猛省をうながしています。

以下はキャラザース選手の意見を要約したものです。

【モーターサイクルニュース】一般公道がレースコースに使用されるというTTの特殊性はみとめるが、それにしてもその路面状況は余りにもひどい。私の知る限りではマン島のコースは欧州最悪のコースである。

英国のオートバイメーカーがその製品のテストにコースを使用するので路面が荒れるといういいわけは通用しない。いやしくも世界最大の選手権レースに使用する以上、ライダーの安全のための路面管理にそれこそ主催関係者の義務だからだ。

ヨーロッパの三国で

速度制限

★スピード制限が実施されているのは別に日本ばかりではありませんが、これはヨーロッパの三国で、初めて試験的にスピード制限が実施されたというニュース。いずれの国でもドライバーには不評のようですが……

【自動車の実務】ヨーロッパではすでにイギリスが最高速度七〇マイル(一一二キロ)／時というスピード制限が行なわれているが、フランスでもこのほど初めてスピード制限が実施された。ただし最高速度が制限されたのは総延長一万四五〇〇キロにわたる幹線ハイウェイだけで、ここでは最高速度が一〇〇キロ／時に押えられた。これ以外の道路では速度制限はないが、いずれ状況によってスピード制限が広がっていくものとみられている。

フランスにつづいてオーストリアでもスピード制限を一時的に実施し、ベルギーでも試験的に行なうことになり、ヨーロッパ中にスピード制限が広がるような勢いをみせている。オーストリアではイースターの期間中だけ全国の道路で最高速度が一〇〇キロ／時に制限された。イースター後は再び制限なしとなっているが、同期間中の事故発生率の増減、あるいは交通の流れなどの結果はまだ明らかにされていない。

ベルギーでは今年の夏季期間中にすべての道路で最高速度を九〇キロ／時に押えることにしている。

両国ともまだ試験的な実施にすぎないが、これを機にして恒久的なスピード制限の実施へ踏みきる方向がうかがわれることになるものとみられている。(七月号)

■ヤマハサービス・コーナー■

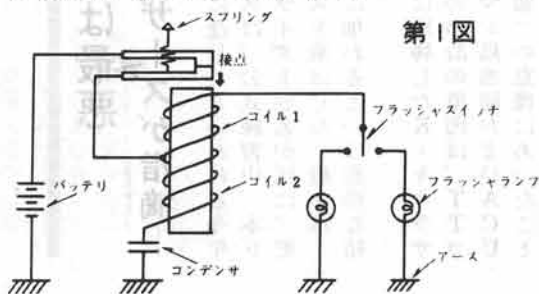
セールスの方、サービスの方、そして事務の方、お店のみなさんで
ご覧ください。お客さまを迎えたときの“話のタネ”に絶好です。

フラッシュは英語のフラッシュ＝ひらめくとか、ぴかっと光るものという意味からきているもので、オートバイや自動車というフラッシュはフラッシュランプの点滅によって方向転換を他の交通に意志表示する方向指示器ということになります。フラッシュと同義語にウィンカーという言葉もありますが、これはウィンクするウィンク＝まばたきとか、きらめきという意味からとったもので、やはり方向指示器のことです。

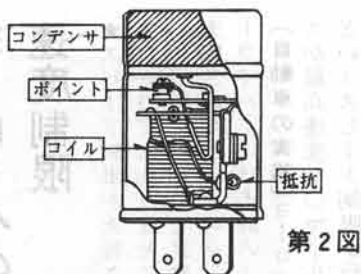
このフラッシュがどのようにして働くか、今号ではその作動の原理と点検方法について述べることにしましょう。

■フラッシュリレーの働き

フラッシュがフラッシュする、つまりランプを点滅させる働きをうけもっているのがフラッシュリレーですが、このフラッシュリレーはコンデンサ式、バイメタル式、熱線式、水銀式など、いろいろな種類のものがありますが、オートバイに多く採用されているのはコンデンサ式で、メイト50/70やビジネスシリーズ、CS2-E以上のスポーツ、トレールシリーズに使用されているコンデンサ式について取上げることにしましょう。



第1図



第2図

第1図をご覧ください。これはコンデンサ式フラッシュリレーの回路図です。そして第2図はフラッシュリレーの構造図です。

ハンドルグリップ部にあるフラッシュスイッチをonにしますと、バッテリー→接点→コイル1→フラッシュスイッチ→ランプと電流が流れてランプが点灯します。いっぽう電流は接点→コイル2→コンデンサへとも流れ、コンデンサの蓄電がはじまります。

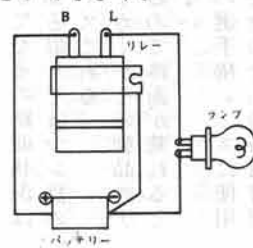
そしてコンデンサがフルに蓄電されますとコイルは電磁石となり、接点を矢印の方向に吸引することになります。ということは接点がひらかれることで、電流の回路が切られることからランプは消えることになります。接点を吸引したことで、コンデンサに蓄電された電流は放電され、放電が終了すればコイルの磁力はなくなり、接点はスプリングの力によってもとに戻ります。これで再び接点が閉じたことになり、ランプは点灯し、コンデンサは蓄電をはじめることになります。

以上の働きが繰り返され行なわれ、ランプは点滅することになるわけです。

■フラッシュリレーの点検

ところで、フラッシュの点滅作動はどのような範囲にあればよいのでしょうか。JIS（ジス＝日本工業規格）の規定によりますと毎分50～120回の範囲で点滅すればよいことになっております。

フラッシュランプの点滅が不具合であったり、点灯しなかったりする原因は結線やランプ、ソケットのトラブルのほか、フラッシュリレーの不整が考えられますが、これについては第3図に示す方法で簡単に故障の有無を調べることができます。



第3図

すなわち、まずリレーの結線を外し、指定の負荷（例6V20W球を2個使用しているものにあつては6V40W球1個）を接続し、車体に取り付けたまま、あるいは単体でテストする場合においても必ずアースを確実にとって作動させます。この方法で1分間に50～120回の点滅があれば、そのリレーは良好です。

なお、アースが不完全であると、ポイントを焼損するため、必ず確実にアースするように注意してください。

そのほか、フラッシュリレー取付上の注意事項をまとめてみますと……

- ①使用電球は必ず規定容量のものを使用
- ②フラッシュリレーの極性に注意する
- ③洗車時に水をかけぬように注意する
- ④フラッシュリレー、フラッシュランプのアースは確実にとる（ケースアースになっている）

釣りの花形

ヤマハボート^{プラス}十船外機



釣りは、海彦、山彦の神話の時代から日本人に愛好されてきました。釣り人口はいまや1千万人を越え、人々の心身を鍛えるスポーツとして脚光を浴びています。国民各層への普及振興を図って、財団法人日本釣り振興会も発

会したほどです。時代の要求にそって、釣りの内容も変化しました。とくに、ここ数年来、さかんになってきたのがボート釣り。その花形は、もちろんヤマハボート「フィッシャーマン」とヤマハ船外機のコンビです。

新しいスポーツレジャーをつくる ヤマハトレールランド

“ヤマハトレールランド”が各地にぞくぞく誕生しています。ヤマハトレールで飛ぶ、跳ねるノラフロードを思い切りつっ走る快感。変化に富んだ地形でテクニックをみがく

喜び。ヤマハトレールランドは、新しいスポーツレジャーを育てます。ヤマハトレールランドはまた、トレール教室や各種の競技の会場としても活用できます。

